



# 鷹 番

令和8年 4月30日  
目黒区立鷹番小学校  
学校だより  
5月号

◎やさしく (豊かな心) ・かしこく (確かな学力) ・たくましく (健やかな体)

<http://www.meguro.ed.jp/metkbeh/>

## 大きな支え

副校長 深尾 絵美子

「お母さんが笑顔なら子どもも笑顔になれるから。」

「無理をしないでできることをしていただく。」

ある方とお話していたときに、その方が話していた言葉です。副校長は、保護者や地域の方等、教職員以外の大人と関わる仕事も多いです。その中にはPTAの皆様との関わりがあり、とても大事な仕事の一つです。先ほどの言葉は、PTA 会長さんのお話でした。「なるほど、鷹番小のPTAが温かくゆるやかに学校とつながってくださっている印象なのは、会長、副会長、委員さん方はじめ、保護者の皆様のそのようなお気持ちがあったのか。」と、とても嬉しく感じました。

昨今は、PTAを無くす学校も増えていると聞きます。でも、実は、卒対さん含むPTAは、学校にとって、とても大きな存在なのです。行事の時は、かゆいところに手が届く絶妙なサポート。いくつかの記念のプレゼントは、子どもたちがいつまでも持っておきたいグッズ。それらの準備等は、並々ならぬ労力が必要なときもあるとお察ししますが、「子どもたちが楽しめるように。」「先生方にお世話になっているから。」と、笑顔で役割をこなしてくださっている。それらが学校にとって、どれほど大きな支えになっていることか!ボランティアの保護者の皆様も同様です。

現在、読み聞かせと宝島図書館の代表の方々をはじめとした多くの皆様が、忙しい合間に学校に駆けつけ、子どもたちの笑顔を咲かせてくださっています。関われる方々が、ご自身も楽しみながら力を貸してくださり、それが鷹番小の大きな支えとなっている。鷹番小の誇れる力だなと感じています。

## 5月の生活目標

### 仲良く生活をしよう

#### 具体的な行動

- ・協力して生活をする。(係・当番・運動会)
- ・やさしい心で相手の立場に立って、行動する。
- ・「~さん」で呼び合う。

## 「最高学年としてのスタート」

新年度がスタートし、最高学年としての一步を踏み出した6年生。朝の登校や身支度では1年生に優しく声をかけ、手を引いて教室へ案内するなど、頼もしい姿が見られます。また、クラブ活動や委員会活動も始まり、学校全体を支える役割に意欲的に取り組んでいます。一人一人が自覚と責任をもち、下学年の手本となろうとする姿に、最高学年としての成長を感じています。これからのさらなる活躍が楽しみです。

6年担任